作成日 ：2013年10月 3日
改訂日 ：2023年 3月31日 （第3版）

安全データシート

１．化学品及び会社情報

化学品の名称	イデトップフロアブル
製品コード	CHPB
供給者の会社名称	株式会社エス・ディー・エス バイオテック
住所	東京都千代田区神田練塀町３番地
担当部門	安全環境・品質保証室
電話番号	03-6867-8313
FAX 番号	03-6867-8329
緊急連絡先	03-6867-8313
推奨用途	農薬（芝生用除草剤）
使用上の制限	登録内容以外の使用は可
整理番号	１５２０－０１

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

(物理的及び化学的危険性)

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高圧ガス	区分に該当しない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	区分に該当しない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	区分に該当しない
急性毒性：経皮	区分に該当しない
急性毒性：吸入（気体）	区分に該当しない
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉じん）	区分に該当しない

急性毒性：吸入（ミスト）	区分に該当しない
皮膚腐食性/刺激性	区分に該当しない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分に該当しない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分２（腎臓、中枢神経）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
誤えん有害性	分類できない

（環境に対する有害性）

水生環境有害性　短期（急性）	区分２
水生環境有害性　長期（慢性）	区分１
オゾン層への有害性	分類できない

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語		警告
危険有害性情報		腎臓又は中枢神経の障害のおそれ 水生生物に毒性 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
注意書き	安全対策	ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。 取扱い後、手、顔、眼をよく洗うこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 必要なとき以外は、環境への放出を避けること。
	応急措置	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。 漏出物を回収すること。
	保管	施錠して保管すること。
	廃棄	内容物/容器を法/条例に従って廃棄すること。

３．組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	トリアジフラム水和剤

成分及び濃度（含有率）

(成分)	(化学名／化学式)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
				(安衛法)	(化審法)

<成分①> トリアジフラム	(RS)-N-[2-(3,5-ジメチルフェノキシ)-1-メチルエチル]-6-(1-フルオロ-1-メチルエチル)-1,3,5-トリアジン-2,4-ジアミン ／$C_{17}H_{24}FN_5O$	30.0 %	131475-57-5	8-(3)-908	―
<成分②> 水、界面活性剤等	―	70.0 %	―	―	―

<安衛法　表示・通知対象物質>

(成分)	(含有率)	(CAS番号)	(官報公示整理番号)	
			(安衛法)	(化審法)
エチレングリコール（成分②に含有）	1 - 5 %	107-21-1	既存物質	(2)-230

4．応急措置

吸入した場合　被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合　多量の水で洗うこと。
皮膚刺激又は発疹を生じた場合、医師の診察/手当てを受けること。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

眼に入った場合　水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、眼科医の診察/手当てを受けること。

飲み込んだ場合　口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診察/手当てを受けること。

5．火災時の措置

適切な消火剤　二酸化炭素、泡消火剤、粉末消火剤等

使ってはならない消火剤　情報なし

火災時の特有の危険有害性　燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、フッ素化合物等が含まれる。

特有の消火方法　消火のための放水等により、消火水が下水や河川等の水系に流れ込まないよう適切な措置を行うこと。
火元への燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火すること。
延焼の恐れのないよう、安全な距離から散水・冷却し、周辺を保護すること。消火活動は風上から行うこと。
安全に行える場合、火災場所から容器を搬出すること。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置　適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用すること。

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置　漏出時の処理作業には、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク）を着用すること。回収が終わるまで十分な換気を行うこと。

環境に対する注意事項　河川、湖沼等の水系に流入しないよう十分に注意すること。

封じ込め及び浄化の方法及　オガクズ、土砂等の吸着剤に吸着させ、密閉できる空容器に回収

び機材	すること。汚染した箇所は水や洗剤でよく洗浄する。洗浄水は回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに取り除くこと。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	取扱いは換気の良い場所で行うこと。
安全取扱い注意事項	容器の破損や容器からの漏洩に注意すること。吸い込んだり皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡等を着用して、できるだけ風上から作業すること。
接触回避	情報なし
衛生対策	取扱い後は、手、顔、眼等をよく洗い、うがいをすること。
保管	
安全な保管条件	容器を密閉し、適当な換気のある乾燥した冷暗所に、施錠して保管すること。飲食品や飼料と区別して保管すること。
安全な容器包装材料	製品容器包装材料に準ずること。

8．ばく露防止及び保護措置

許容濃度等	
管理濃度	未設定
許容濃度	日本産業衛生学会で未設定
設備対策	室内作業の場合は、換気を適正に行うことが望ましい。取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。
保護具	
呼吸用保護具	保護マスク
手の保護具	ゴム手袋
眼、顔面の保護具	側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護服（長袖、長ズボン）、保護長靴
特別な注意事項	情報なし

9．物理的及び化学的性質

物理状態	液体（水和性粘稠性液）
色	類白色
臭い	情報なし
融点/凝固点	情報なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	情報なし
可燃性	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
ｐＨ	6.7（20℃）（20g/80mL水溶液）
動粘性率	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び/又は相対密度	1.08 g/cm^3（20 ℃）
相対ガス密度	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性	通常の取扱いにおいては反応性なし。
化学的安定性	通常の取扱い条件下においては安定。
危険有害反応可能性	情報なし
避けるべき条件	情報なし
混触危険物質	情報なし
危険有害な分解生成物	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物、フッ素化合物等が含まれる。

11. 有害性情報

急性毒性	経口 LD_{50}	＞5,000 mg/kg（ラット、マウス）（区分に該当しない）
	経皮 LD_{50}	＞2,000 mg/kg（ラット）（区分に該当しない）
	吸入 LC_{50}	成分からの推算値(ATE)が5.0 mg/ℓ以上であり、区分に該当しない。分類できない成分が11%ある。
皮膚腐食性/刺激性		刺激性なし（ウサギ）（区分に該当しない）
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		刺激性なし（ウサギ）（区分に該当しない）
呼吸器感作性		情報なし（分類できない）
皮膚感作性		陰性（モルモット）（区分に該当しない）
生殖細胞変異原性		情報不足（分類できない）
発がん性		情報なし（分類できない）
生殖毒性		情報不足（分類できない）
特定標的臓器毒性（単回ばく露）		成分②の一部に区分１（腎臓、中枢神経）に該当する成分を1%以上10%未満含有する（区分２）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）		情報不足（分類できない）
誤えん有害性		情報なし（分類できない）

12. 環境影響情報

生態毒性

魚類：	コイ	LC_{50}（96 hr）	1,000 mg/L
甲殻類：	オオミジンコ	EC_{50}（48 hr）	32.0 mg/L
藻類：	緑藻	ErC_{50}（0-72 hr）	1.76 mg/L
		NOECr	0.10 mg/L

上記の結果から、水生環境有害性　短期（急性）を区分２、速やかな分解性のない成分を含有することから、水生環境有害性　長期（慢性）を区分１とした。

残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし（分類できない）

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。
空容器、空袋、汚染容器等：	内容物を完全に除去し、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。

これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た産業廃棄物業者に委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号	UN 3082
品名（国連輸送名）	環境有害物質（液体）、他に品名が明示されていないもの（トリアジフラム混合物）
国連分類	クラス 9
容器等級	Ⅲ
海上輸送	IMO/IMDGの規定に従う。
航空輸送	IATA/ICAOの規定に従う。
海洋汚染物質	該当
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	荷役作業は丁寧に行い、転倒、転落、引きずり等により容器に衝撃を加えたり、水濡れや破損させたりしないよう注意する。

国内規制

陸上輸送	規制されていない。
海上輸送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
航空輸送	航空法に定められている運送方法に従う。
応急措置指針番号	171

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録番号 第19758号
化学物質排出把握管理促進法	「(RS)-N-[2-(3,5-ジメチルフェノキシ)-1-メチルエチル]-6-(1-フルオロ-1-メチルエチル)-1,3,5-トリアジン-2,4-ジアミン（別名トリアジフラム)」：2023年4月1日以降、第二種指定化学物質（管理番号：784） 30%
労働安全衛生法	第57条及び第57条の2 名称等を表示・通知すべき危険物及び有害物 ・ エチレングリコール 1 - 5%
毒物及び劇物取締法	毒物・劇物に該当しない
消防法	消防法危険物に該当しない
化審法	第一種・第二種特定化学物質に該当しない
船舶安全法	環境有害物質（液体）有害性物質 等級9
航空法	その他の有害物件 分類番号9

16. その他の情報

参考文献、資料等： トリアジフラム原体 安全データシート（(株) エス・ディー・エス バイオテック）

記載内容の取扱い：

- 記載内容はこの製品の一般的な取扱いに関する情報提供であって、いかなる保証をなすものではありません。
- 記載内容は現時点で一般的に入手可能な情報に基づいて作成しておりますが、全ての情報が網羅されているわけではありません。
- 新たな情報を入手した場合は改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の取扱いを対象にしたものですので、特殊な取扱いの場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。